

進化し続ける未来創造港湾 東京港 物流（外貿コンテナ）

貨物

[骨子]

集貨・創貨

【国内貨物の取込み】

- 内航船等のフィーダー専用ふ頭の整備
- フィーダー専用ふ頭、内貿ふ頭、鉄道貨物ターミナル等と外貿ふ頭とのシームレスな接続（道路の専用レーン化、AGVの導入）
- インランドデポと外貿ふ頭間におけるシャトル便の運行（自動運転、隊列走行、共同輸送）
- インランドデポと鉄道貨物駅との連携（共同輸送）
- 新たな道路ネットワークの構築（広域道路ネットワーク、臨海部へのアクセス、港内道路）
- 重要物流道路の拡大、海上コンテナ車両が特別の許可なく通行できる環境の整備
- 新たな土地造成や土地交換による用地の創出
- 海貨を取扱う倉庫の誘致、倉庫の建替え促進
- 海貨の高付加価値化に資する高機能倉庫の誘致
- 冷蔵貨物の取扱量増加に対応したリーファープラグの増設、共同利用
- 背後圏の荷主、船社へのポートセールス
- 港湾間の連携による国際フィーダー航路等の就航支援
- 内航航路ネットワークを活用した農林水産物・食品の集貨促進
- 東京港利用のインセンティブ制度の拡充

【海外からの北米トランシップ貨物の取込み】

- 東南アジア貨物から北米向けのトランシップ貨物等の取り込みに向けた荷主・船社へのポートセールス
- 東京港利用のインセンティブ制度の拡充

施設

[骨子]

| | |
|---|--|
| <p>船舶の大型化・ 自動運航船の対応</p> | <p>【岸壁の増深等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大型船に対応した新規ふ頭の整備（既定計画の変更を含む） ○ 既存ふ頭の再編整備（岸壁等の増深、連続バース化） ○ 自動運航船の寄港を可能とする施設の整備 <p>【クレーンの大型化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ガントリークレーンの大型化（揚程高、ブーム長） |
| <p>寄港船の 滞在時間の短縮</p> | <p>【効率的で生産性の高いコンテナターミナル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ヤードの拡張、ヤードの高度利用化、ヤードレイアウトの見直し（ターミナルの処理能力の向上） ○ 「ヒトを支援するA Iターミナル」の実現に向けた施設のIoT化（センサーの設置、クレーンの高度化） |
| <p>ゲート 処理時間の短縮</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ ICT技術を活用した搬出入情報の処理（サイバーポート（港湾関連データ連携基盤））の施設整備 ○ 共同ゲートの整備、車両待機場の整備 |
| <p>ヤード内 荷役時間の短縮</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ ヤードの拡張、ヤードの高度利用化、ヤードレイアウトの見直し（ターミナルの処理能力の向上） ○ 「ヒトを支援するA Iターミナル」の実現に向けた施設のIoT化（センサーの設置、クレーンの高度化） ○ 各ふ頭におけるターミナルオペレーションシステムの一体運用 ○ ヤードクレーンの規格統一化・相互融通（繁忙期・遅延時対応） |
| <p>港湾関連施設間 における コンテナ輸送 の効率化</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ バンプール・シャーシプールのターミナル周辺への集約化 ○ バンプールとヤードのシームレスな接続（道路の専用レーン化、AGVの導入） ○ ターミナル間のシームレスな接続（道路の専用レーン化、AGVの導入） |
| <p>ターミナルの 機能強化に資する 施設配置の促進</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 新たな土地造成や土地交換による用地の創出 ○ バンプール・シャーシプールのターミナル周辺への集約化 ○ バンプールとヤードのシームレスな接続（道路の専用レーン化、AGVの導入） ○ 施設の一部を利用した太陽光発電 |

運営

[骨子]

| | |
|---|---|
| <p>寄港船の 滞在時間の短縮</p> <p>ゲート処理時間 の短縮</p> <p>ヤード内の 荷役時間の短縮</p> | <p>【最先端技術の導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ サイバーポート(港湾関連データ連携基盤)の導入(ICT技術を活用した搬出入情報の処理) ○ 搬出入事前予約制などの実施 ○ AIを活用したコンテナプランニング、事前荷繰りなどの実施(ヒトを支援するAIターミナル) ○ 貨物のトレーサビリティ(サプライチェーンの情報化・見える化)の促進 ○ 港湾のデジタルツイン化による貨物流動の予測、最適ソリューションの提示 <p>【各コンテナターミナルの連携強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ふ頭におけるターミナルオペレーションシステムの一体運用(入出力データの共有) ○ 各ふ頭におけるバース・クレーンの相互融通(繁忙期・遅延時対応) ○ ヤードクレーンの規格統一化・相互融通(繁忙期・遅延時対応) ○ 共同ゲートの運用 |
| <p>トラックの 来場時間の 平準化</p> | <p>【需要の平準化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 搬出入事前予約制の実施 ○ ゲートオープン時間の拡大 |
| <p>トラックの 来場台数の削減</p> | <p>【モーダルシフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 内航輸送、はしけ輸送(湾内輸送、河川輸送)、鉄道輸送などの利用を促進 |
| <p>港湾関連施設間 における コンテナ輸送の 効率化</p> | <p>【バンプール・シャーシプール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ バンプールとヤードのシームレスなコンテナ輸送(道路の専用レーン化、AGVの導入) ○ ターミナル間のシームレスなコンテナ輸送(道路の専用レーン化、AGVの導入) ○ シャーシの共同利用 ○ インランドデポと外資ふ頭間におけるシャトル便の運航(自動運転、隊列走行、共同輸送) ○ インランドデポと鉄道貨物駅との連携(共同輸送) |
| <p>港湾コストの 削減</p> | <p>【インセンティブ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 減免等のインセンティブ制度の拡充 |

環境

[骨子]

カーボン ニュートラル ポートの実現

【環境に配慮した船舶の受入】

- 陸上電源設備やLNGバンカリングなど、船舶への次世代エネルギー（カーボンニュートラルな電力）供給設備の整備

【環境に配慮したターミナルの実現】

- ターミナル内施設における次世代エネルギーの利活用の拡大
- 港湾荷役機械や構内トレーラーへの燃料電池の導入
- トレーラー等向け水素ステーションの整備
- 施設の一部を利用した太陽光発電
- SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組の推進

多様な輸送 モードの活用

【モーダルシフト】

- 内航船、はしけ輸送（湾内輸送、河川輸送）、鉄道輸送など環境にやさしい輸送モードの利用を促進

防災

[骨子]

発災時にも 物流活動を 維持できる 強靱な港

【地震・高潮・暴風対策】

- 耐震強化岸壁、免震クレーンの整備
- 港内の無電柱化の推進
- ターミナル機能を維持する電力バックアップ機能の確保
- 埠頭の浸水対策の強化（コンテナの流出防止、電気設備の機能喪失への対策、埠頭用地の嵩上げ）
- 発災時における港湾間の連携による物流網のリダンダンシーの確保
- ICT等を活用した情報共有及び発信

【感染症・特定外来生物対策】

- 関係機関との連携による感染症対策、特定外来生物対策の強化

快 適

[骨子]

職場環境の改善

【労働環境の改善】

- 「ヒトを支援するAIターミナル」の実現
- DXの推進により、安全で快適な生産性の高い職場環境の実現

【福利厚生施設の充実】

- みなとの駅（仮称）の整備（コンテナ車両等が駐車可能、コンビニ・食堂・休憩・交流施設）
- トイレや休憩施設等の充実
- 保育所・託児所の整備
- ユニバーサルデザインの推進

【通勤手段の確保】

- 交通手段の充実（路線・頻度・定時性の確保）
- 自動運転等の最新交通手段の導入